

平成28年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,301	8,770	4,442	4,328	3	△ 23
2 千 石	3,882	6,740	3,400	3,340	6	△ 3
3 内 山	5,106	7,330	3,874	3,456	15	△ 8
4 大 和	3,300	6,563	3,232	3,331	△ 8	△ 19
5 上 野	7,136	15,331	7,629	7,702	△ 7	△ 10
6 高 見	7,058	13,198	6,344	6,854	10	△ 2
7 春 岡	6,681	10,747	5,648	5,099	△ 18	△ 13
8 田 代	11,320	21,568	10,371	11,197	22	50
9 東 山	10,147	19,317	9,552	9,765	10	△ 2
10 見 付	4,535	8,483	4,284	4,199	△ 31	△ 40
11 星 ケ 丘	3,454	6,788	3,099	3,689	1	7
12 自 由 ケ 丘	3,518	7,328	3,343	3,985	7	△ 2
13 富 士 見 台	6,391	15,465	7,187	8,278	△ 14	△ 25
14 宮 根	3,748	8,414	4,033	4,381	△ 5	△ 11
15 千 代 田 橋	3,580	8,596	4,006	4,590	△ 1	△ 15
千 種 区 計	85,157	164,638	80,444	84,194	△ 10	△ 116
H27.3.1	82,680	163,638	79,794	83,844	△ 75	△ 134
対 前 年 比	2,477	1,000	650	350	65	18
名 古 屋 市	1,060,630	2,297,902	1,134,439	1,163,463	378	△ 456
愛 知 県 (H28.2.1)	3,069,684	7,491,045	3,744,495	3,746,550	△ 3,807	25,002

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	99	129	△ 30	849	935	△ 86

【参考】

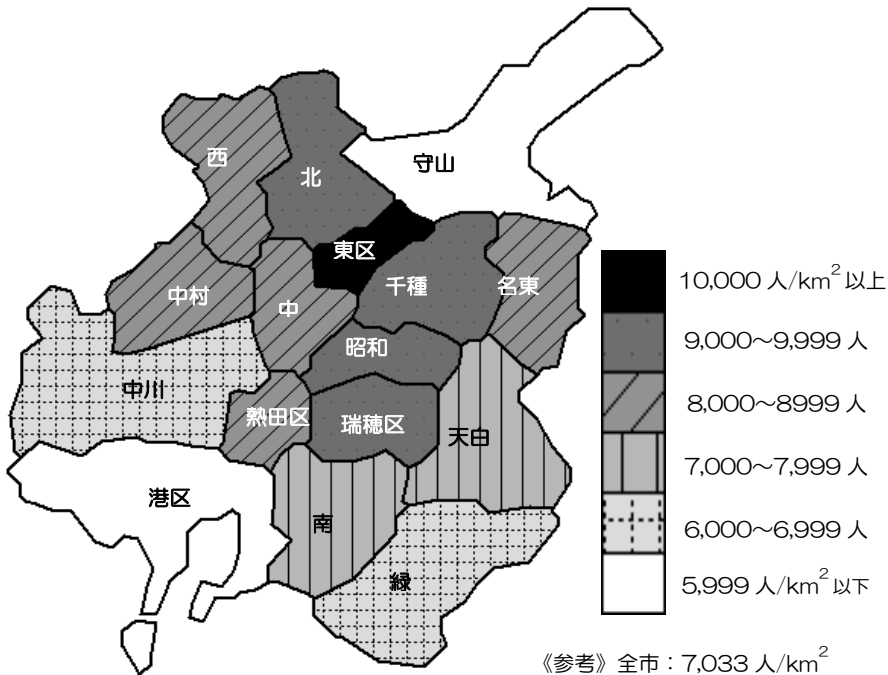
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132	これまでの最少人口	
平成2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の人口密度の概況

平成 28 年 3 月 1 日現在の千種区の世帯数は 85,157 世帯となっており、人口は 164,638 人となっています。今回は平成 27 年 10 月 1 日現在の千種区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

図 1: 区別人口密度 (平成 27 年 10 月 1 日現在)

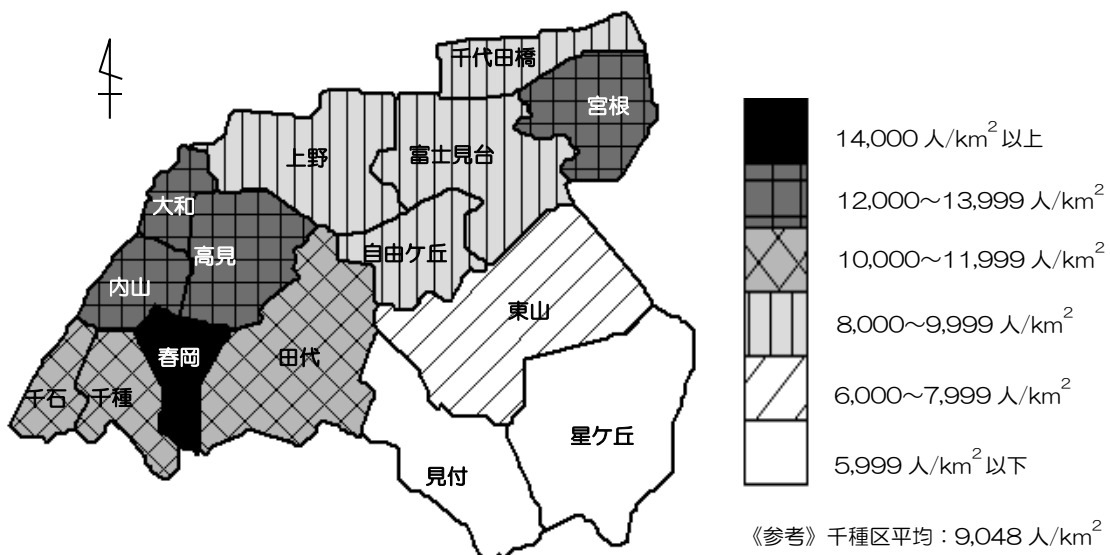


平成 27 年 10 月 1 日現在の区別人口密度をしてみると (図 1)、東区が 10,127 人/km² と最も多く、昭和区 9,799 人/km²、瑞穂区 9,393 人/km²、北区 9,332 人/km² と続き、千種区は 9,048 人/km² で 5 番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が 3,217 人/km² で最も低く、守山区 5,084 人/km²、緑区 6,381 人/km² と続きます。全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。

図 2: 千種区の学区別人口密度 (平成 27 年 10 月 1 日現在)



平成 27 年 10 月 1 日現在の千種区の学区別人口密度を大きい順に春岡 (14,686 人/km²)、大和 (13,741 人/km²)、高見 (12,494 人/km²)、宮根 (12,119 人/km²)、内山 (12,002 人/km²) の順となっています。